第４回NeXEHRS シンポジウム
2023年5月29日

医療情報の利活用における社会貢献や個人への還元と課題について

ソフトバンク株式会社　テクノロジーユニット　AI戦略室
井上 伸一

SoftBank

様々な検診やインターネットを含めた確からしい情報が手に入る世の中で
自身に置き換えて考えると出来ることは見えてきている。

ですが、不調を来す前に行動するのは非常に難しいと実感している。

理想

適切な運動　や　何らかの制限

現実

その時は思うのですが　行動を変えるのは難しい
（私の場合ですが、、、）

個人の健康への関与を高める

AIなど活用して
パーソナライズされたサービスが発展
（ここが魅力的であるほど望ましい）

1. 本人の健康や医療へのデータが無いと難しい
→
2. ビッグデータで解析　利活用できた方が良い
→
3. サービスにおける主な部分は研究成果に頼る部分が大きい

1

本人の健康や医療への
データが無いと難しい

検診の結果など

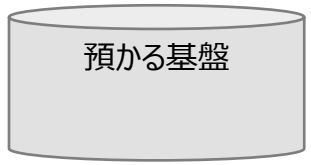
スマホ　IoTを活用した新しい健康管理

本人の健康医療情報を
本人が活用できる
社会インフラが必要で

何より　本人がデータ活用する
文化に変えることが最も必要

2

ビッグデータで
解析　利活用できた方が良い



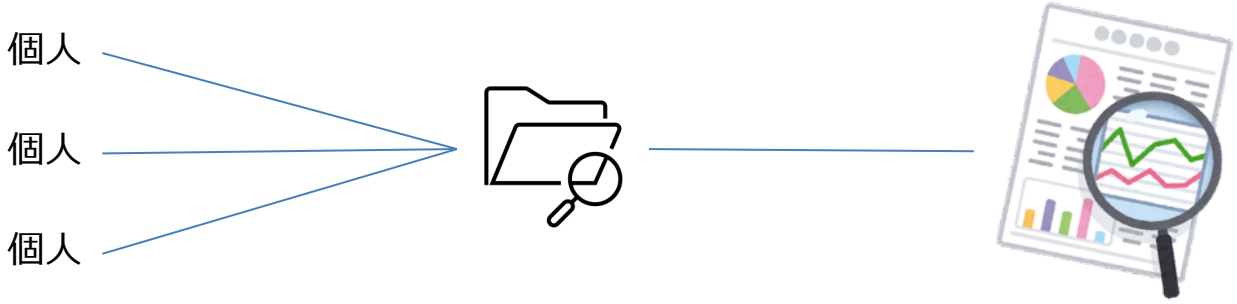
標準化

安全で安心を実感できなければいけない
セキュリテイ
プライバシーの保護

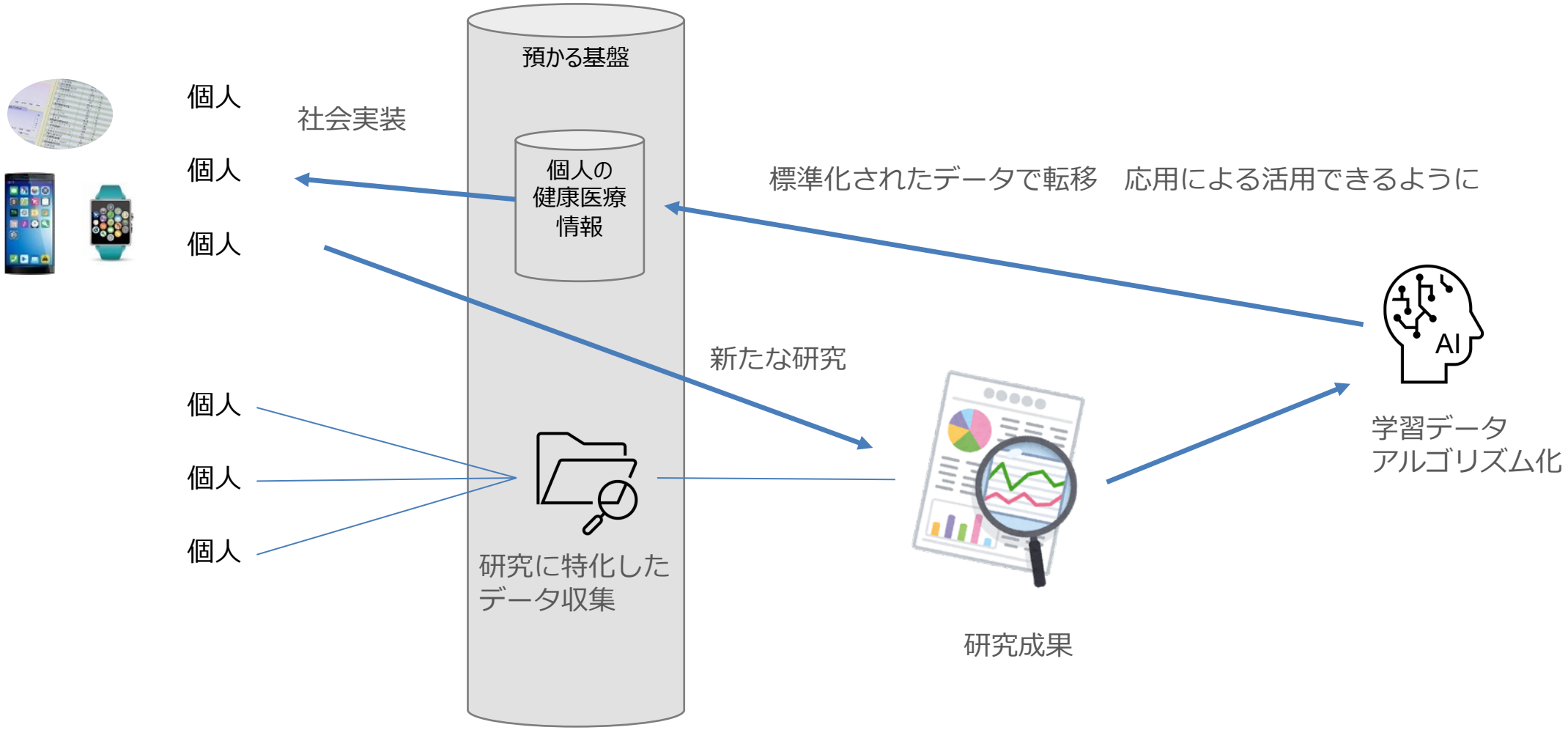
3

サービスにおける主な部分は
研究成果に頼る部分が大きい

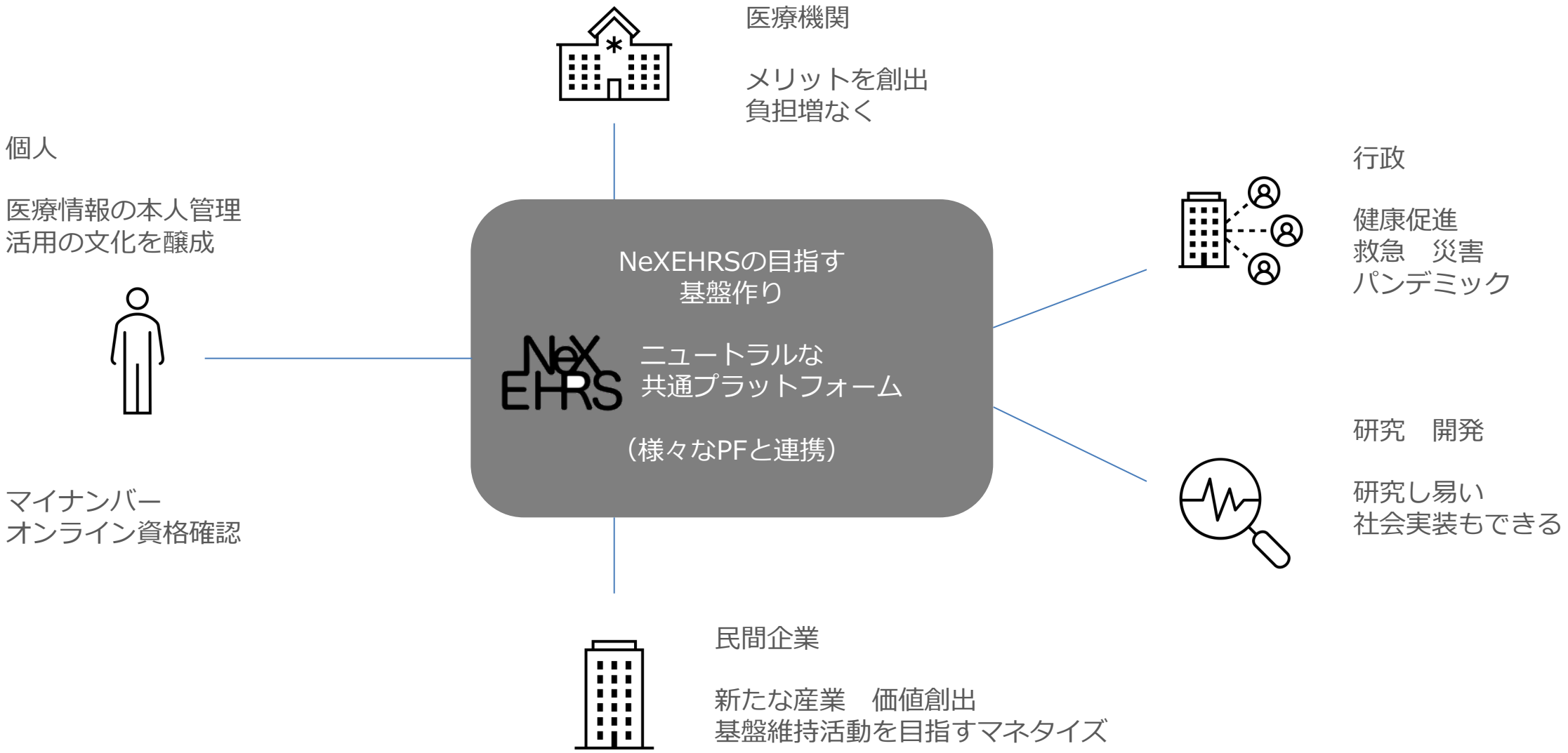
エビデンスに基づいた研究の成果などが新しい価値を創出するなら社会実装を目指したサイクルを形成する必要あり



研究成果のエコサイクルを実現できる基盤



基盤維持　自立を目指してステークホルダーが協調



様々な取り組みが行われている社会

個別産業でしっかりと実装し

様々な産業とDXを実現していくことにより

新たな価値や社会貢献が生まれ易い環境に成長していく

デジタル
サービス

データ
連携基盤

EoF

ご清聴いただき　ありがとうございました